

# 太平洋戦争開戦の日、スパイとされた大学生と米国人教師の悲劇。

レーン・宮沢事件 もうひとつの12月8日

2013年12月に成立した、秘密保護法案。公布から1年以内に施行されることが決定した。法案は「機密情報を漏えいした者への罰則を強化するため」と政府は説明しているが、国会での議論と市民への説明が十分に尽くされたとは言えない。

秘密保護法とソックリな戦前の悪法・軍機保護法施行下で起こった「レーン・宮沢事件」を追ったただひとつの幻の作品が緊急DVD化！日本国内だけでなくアメリカ・イタリアへロケ敢行。知られざる日本の歴史的な事件を掘り起こした問題作。安倍改憲・秘密保護法復活のいまこそ必見！



## 主な証言者

秋間美江子(米国在住・宮沢弘幸の妹)  
 フォスコ・マライニ(イタリア人類学者・宮沢の親友)  
 上田誠吉(弁護士・事件の真相解明に尽力)  
 藪下彰治朗(新聞記者・国家秘密法を取材)

**【レーン・宮沢事件とは】** 太平洋戦争開戦日の1941年(昭和16年)12月8日、北海道大学工学部2年の宮沢弘幸さんと、北海道大学予科の英語教師ハロルド・レーンさん、妻のポーリンさんの3人が軍機保護法違反などの疑いで逮捕され、それぞれ懲役12年から15年の刑を受けた事件。旅行中に見かけた根室の海軍飛行場について、宮沢さんがレーン夫妻に直接話したことが、軍事機密の漏洩とされた。当時、リンドバーグ大佐の飛来などで海軍飛行場の存在は周知の事実であった。宮沢さんは1945年10月に釈放されたが、獄中で結核を患い、1年4ヶ月後に死亡した。

**【秋間美江子さん(宮沢弘幸の妹)の証言】** いろんな拷問があったそうです。立ち上がって両足をついて両手もつく。それをカニと言ったそうです。とっても苦しいかこうなんです。それで、1時間でも2時間でも立っているそうです。「だからボクは一生カニなんか食べないんだよ。だってお兄ちゃんがカニになっちゃたんだもん」。次兄が言ったその言葉は今でも耳に残っています。



個人用価格 3000円(税別) 団体・上映用価格 9000円(税別) 企画制作 ビデオプレス  
 173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-108 TEL03-3530-8588 FAX03-3530-8578 <http://vpress.la.coocan.jp/>

本編52分	片面1層	COLOR	MPEG-2	複製不可
4:3	NTSC	DOLBY DIGITAL	DVD VIDEO	



無承認上映及びレンタル不可

